

い.) 星のスペクトルを示すものやマゼラン雲の散光星雲を示すものなどで、これまでの一つ一つの小さな写真に比べて 36 cm×36 cm 写真上で示したものはずいぶん迫力があつた。日本にも同じ口径のシュミット望遠鏡があるのだから学校教育のために写真集を作ってもらえないものであろうか、と思った。(聞くところによると、現在、丸善出版のご好意で写真集の出版準備が進んでいるとのことである。)

全体会議のほかに分野別に分れた分科会とワークショップがあつた。分科会では 1) 小学校での天文教育, 2) 中・高校における天文教育, 3) 大学での天文教育, 4) 学校教育で取りあつかう天文学史, 5) スペース・ラボラトリーの教育的活用, 6) 宇宙現象を学生にどう理解させるか、が取り扱われた。ワークショップでは、1) スペースラボラトリーの教育的活用, 2) 学校における天文実験と観測, 3) 学校における天文学と宇宙物理学, 4) ビデオ・ディスクとマイクロ・コンピューターの教育における使用, 5) 天文教育用の写真の取り扱いについて、があつた。私の出席した会ばかりでなく、他にも 20 人ずつ位の小人数であつたので活発な議論があつて、ある面では全体会議より有意義であるという意見が多かつた。

この会で始めて知つたのであるが、天文学を地学の中で教えている国は比較的少く 1/3 程度であるらしい。大部分は物理学の中か、広く科学の中で教えられている。

現在のように天体物理学が天文学の中で大きな位置をしめるようになった時代には、天文学を地学の中で教えるのは限界があるように感じていたが、この会で確かめられた感じである。

このように有意義な会議であつたが、これは GIREP という物理教育に関心を持つ人々の集りであつた。IAU の第 46 委員会でも各レベルでの天文教育をどのように行ふのが良いのかを各国の経験を元にして考える会を持つとうという事になっている。現在の予定では 1988 年 7 月 27 日から 29 日までの間アメリカ・マサチューセッツ州ウィリアムズ・カレッジで IAU コロキウムとして天文教育に関する会を開く事になっている。この会議は国際アマチュア天文連合、国際プラネタリウム教育者会議などと協力して 300 人程度の人を集めて行われることになっている。(私も組織委員の一人ですの上記の要領で問い合わせ下さい。)

科学の発展には優秀な研究者の存在は欠かせない。しかし、今日のように科学が巨大化し、又、人々の科学への関心が深まった時代には、より多くの人々の理解と支持がなければ科学の次なる発展を目指すのはむつかしくなるであろう。そういった認識の世界的な高まりによってここにきて、天文学の普及、教育の議論が高まってきたと思う。日本でもより多くの研究者やアマチュア天文家がこの問題に取り組み始めてもらいたいと思う。

日本天文学会 1986 年秋季年会記事

1986 年秋季年会は、10 月 22 日(水)~24 日(金)、高知市高知商工会館で開催された。講演は 2 会場で併行して行われ、199 の研究発表があり、出席者は 300 余名であつた。なお次の方々に座長をお願いした。

A 会場

22 日	午前	赤羽賢司	海部宣男
		高窪啓弥	奥田治之
	午後	富田憲二	石田憲一
		会津晃	池内了
23 日	午前	加藤正二	小暮智一
		藤本光昭	河鱈公昭
	午後	川口市郎	日江井栄二郎
		牧田貢	海野和三郎
24 日	午前	石黒正人	若生康二郎
		宮本昌典	堀源一郎
	午後	辻隆	尾崎洋二
		中野武宣	尾崎洋二

会期中、22 日昼に臨時評議員会、23 日昼に内地留学奨学金選考委員会、24 日昼に理事会が開催された。

また懇親会は市内高知会館で開催され、220 名を越え

る参加があり盛会であつた。

Post dead-line papers として 2 編が採用され、24 日午後 A 会場で研究成果が発表された。

エクスカージョンと公開講演会について

10 月 25 日、川添 晃氏(高知県教育センター所属)の添乗案内により、予定通り、芸西天文台及び室戸岬レーダー測候所の見学が行われ、23 名の参加者は、景勝の地、矢流レストランで昼の会食を持ち、好評のうちに有意義な一日を終了した。

また、同日、午後 2 時 30 分より、追手前小学校講堂において、秋季年会のしめくくりの行事として、高知県理科教育研究会と共催の公開講演会が、入場者約 500 人(高知新聞社調べ)の参加を得て開催された。講師として、北村正利、関 勉、及び早川幸男氏が、それぞれ「人間と宇宙」「私の天体観測法」「ハレー彗星から学ぶ」と題して、各自の持ち味を生かした講演を行い、つめかけた聴衆に、深い感銘を与えて、予定通り秋季年会行事の幕を閉じた。